

香川県言語聴覚士会会報

KAGAWA SPEECH-LANGUAGE-HEARING THERAPISTS ASSOCIATION NEWSLETTER

発行所／（一社）香川県言語聴覚士会

新年度の挨拶

副会長 大原 久美子

2021年度が始まりました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

昨年2020年度を振り返りますと、「新型コロナウイルス感染症」による日常生活の変化、言語聴覚療法を実施する場面での感染対策や対応など、現場の皆様にとって大変な一年であったと思います。全国協会の学会が中止となったり、各種イベントの延期や中止が多くみられました。県士会活動も中止せざるを得ない事業が多くありました。

しかし、そのような状況の中、リモートによる研修会や会議が各方面で開催されるようになり、当県士会でも2020年11月15日には初のZoomによる講演会、2021年2月28日に学術集会が行われました。今まで直接会場に向かうことが難しく、勉強会や集会に参加できなかった会員の皆様にも、自宅などからオンラインで参加していただけることで、これからの県士会活動がより一層活発に行われるのではないかと期待が高まります。

「新型コロナウイルス感染症」によって、当たり前の生活にたくさんの制限がかかりましたが、私たちはその困難に対応することによって新しい生活様式を身に着けました。一番の願いは、「新型コロナウイルス感染症」の終息です。しかし、まだまだ終息の見通しはつかないように思われます。そのような状況の中ではありますが、今年度は昨年中止・延期された県士会事業の活動が再開される予定です。感染予防対策をしっかりと取りながら皆様とお会いできる日が少しずつ近づいてきていると思います。引き続き、県士会活動へのご参加とご協力の程、よろしくお願い致します。

これからも患者様や利用者様、ご家族様に、言語聴覚療法を通して機能改善や社会参加へつながるよう、ともに試行錯誤しながら前に進んでいきましょう。

学術企画部について

学術企画部 部長 綾田 永治

我々学術企画部は、東讃、高松、中讃、西讃の各ブロックより部員を選出し、現在5名で活動しています。

活動内容としては県士会会員の学術的な知識や技術の向上を目的に、学術集会、講演会、研修会の企画を主に行っています。

昨年度はコロナウイルスが蔓延し、活動を自粛せざるを得ない状況でした。しかしそのような自粛ムードの中でも、担当して頂いたスタッフの先生方のご尽力により3月にはWeb形式にて学術集会を開催することができました。本当にありがとうございました。

学術集会では香川大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科、印藤加奈子先生に『耳鼻咽喉科における嚥下評価と指導』をご講演頂きました。また、通年では1講座ずつ実施していた基礎講座でしたが、コロナウイルスの影響で3月まで未実施であったことから、2講座を実施いたしました。

今年度の活動としては、若手ST対象の研修会、学術企画部主催研修会、学術集会、講演会を予定しております。講演会ではリハビリテーション栄養の第一人者である若林秀隆先生にご講演頂きます。Web開催を予定しておりますので日頃なかなか研修会や講演会に参加しにくい会員の方でも比較的参加しやすくなっていると思います。皆さんお誘いあわせの上是非ご参加いただけたらと思います。

最後になりましたが、この先生の講演が聞きたい、こんな企画をやってほしい、などなど学術企画部にご要望がありましたらアンケートにご記入頂けると幸いです。（アンケートは総会や研修会等で配布しています）

今後も、会員の皆様方に有益な学術活動の場を提供できるよう部員一同奮励しますので、ご協力いただけますようお願いいたします。

地域医療部について

地域医療部 部長 合田 佳史

地域医療部は、①地域包括ケアシステム委員会、②訪問リハビリ研修委員会、③災害リハビリテーション委員会、④失語症カフェ準備委員会、⑤学校教育委員会、⑥医療連携・介護保険委員会、⑦こどもサポート委員会の7つの委員会で組織されております。

地域包括ケアシステムの構築の一翼として、我々STには、その専門性を高め、香川県民の保険・医療福祉の発展充実に寄与することが望まれております。昨年度からは高松市の地域ケア個別会議への助言者としての依頼が増え、高松ブロックの先生方にご協力頂きました。県や市の担当者からも多数お褒めの言葉と感謝の言葉を頂いております。今後、我々STの活動の場はどんどん広まっていくことが予測されます。そのため、STとして所属の病院・施設等外での活動・活躍できる人材が今望まれています。いつ声がかかっても良いように日頃から地域に目を向け、準備をお願い致します。

地域医療部では、昨年度同様、地域包括ケアシステム委員会、訪問リハビリ研修委員会、災害リハビリテーション委員会、こどもサポート委員会においてPT、OT協働で各種研修会を企画しております。また“失語症カフェ”を新型コロナウイルスの感染状況を見ながら再開する予定にしております。今年度より開催される失語症者向け意思疎通支援者養成事業の実習の場ともなり、県内の失語症者の支援体制を構築する上で重要な役割を担うこととなります。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開催様式については現時点で不透明な部分もあります。都度、メーリングリスト等にて会員連絡致しますので、地域医療部活動への積極的な参加・ご協力をお願い致します!!

広報部について

広報部 部長 古川 勝規

広報部は各ブロックから選出された1名と代表1名の計5名で活動しており、言語聴覚の日のイベント、ホームページ、広報誌などを媒体として、県士会員や地域の方々に向けて当県士会の広報、言語聴覚療法の啓発に努めています。

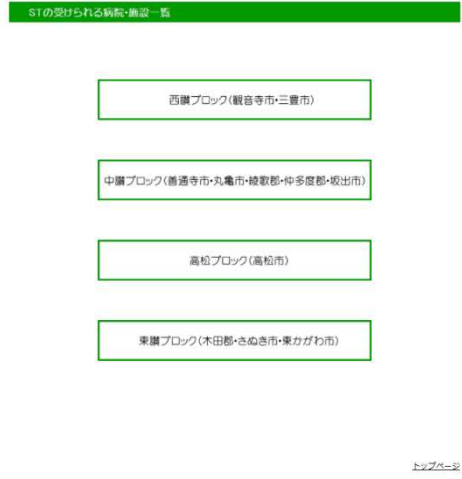
昨年度は新型コロナウイルスの影響でイベントや学会が中止となり、広報部としても活動が制限されましたが、こういう状況であればこそ、多くの情報を発信できるよう努力してきたいと思えます。

まずは昨年度からすすめていた当県士会のリーフレットの作成ですが、今年の6～7月を目標に香川県下の高等学校、40校全てに配布することを計画しております。

今後とも県士会活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○ホームページの運営

研究会や講演会の案内、STのいる病院・施設一覧などを掲載しています。現在、SNS（FacebookやTwitter）の利用も検討しています。



<トップページ>

<STのいる病院・施設の一覧のページ>

○広報誌の発行 4、7、10、1月の計4回発行する計画をしています。

内容：講演会や研究会の案内や報告、各部や委員会の紹介、事務局からの連絡など



令和3年度香川県言語聴覚士会講演会のお知らせ

平素より県士会活動にご参加ご協力いただき、誠にありがとうございます。

下記の研修会をWeb方式にておこなう運びとなりました。今回はリハビリテーション栄養の第一人者の若林秀隆先生に【病院や在宅におけるリハビリテーション栄養について】についてご講演していただくことになりました。ご自宅や職場から参加できますので、奮ってのご参加の程、よろしくお願いいたします。

◆開催日時：令和3年 7 月 1 8 日（日） 10:00～12:00

◆会場：Web開催（Zoom）

◆プログラム

9:30～ 参加受付開始

10:00～ 会長あいさつ

10:10～ 講演：

【病院や在宅におけるリハビリテーション栄養について】

講師：東京女子医科大学病院 リハビリテーション科

若林 秀隆 先生

12:00～ 閉会

◆〈参加申し込み〉

Zoomの招待URLは6月後半にご案内いたします。

◆〈参加費無料〉

◆お問い合わせ先

まるがめ医療センター 谷口 みどり

e-mail:kagawast20210718@outlook.jp



事務局よりお知らせ

■入会希望の方へ

「入会届」の提出と年会費5,000円のお支払いをお願いします。

■会員の皆様へ

下記に変更があった方は事務局までご連絡ください。

*職場 *名前 *連絡先 *メールアドレス

⇒「変更届」の提出をお願いします ※メール、郵送対応可能

●年会費は年度中のお支払いをお願いします。

●退会については、事務局までお問合せください。

■届出用紙の提出方法

「入会届」「変更届」は県士会ホームページ <https://www.normanet.ne.jp/~kagawast/>よりダウンロードできます。ご入力・記名の上、メールまたは郵送にて事務局までご送付ください。

注意：メールで用紙を送付された方には受領メールを送らせていただきます。受領メールが一週間以内に届かない場合は、事務局までお問合せください。

■振込先

【記号】16310 【番号】18249361 【名前】一般社団法人香川県言語聴覚士会

◎他の融機関からの振込

【店名】六三八 【店番】638 【預種目】普通預 【口座番号】1824936

注意：入いただきましたら事務局までご一報ください

その他、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

〒761-8057 香川県高松市田村町 1114

かがわ総合リハビリテーションセンター 言語療法室内 一般社団法人 香川県言語聴覚士会 事務局

TEL：087-867-6008 Mail：kagawast.gengochokak@utopia.ocn.ne.jp